

固定摘要、特殊摘要を使用する際の注意点（MJS NXPro 版）

株式会社 HAYAWAZA

本資料では、HAYAWAZA で「固定摘要」、「特殊摘要」を使用する際の NXPro での注意点を説明します。

NXPro では、HAYAWAZA から生成される仕訳ファイルに固定摘要、特殊摘要が含まれている場合に「摘要項目タイプ」を「内部表現」に変更する必要があります。

しかし、「標準パターン」では、この設定を変更することができません。

The screenshot shows the NXPro software interface. At the top, there is a menu bar with '会計大将' (Accounting King) and several buttons: 'お気に入り' (Favorites), '1. 入力処理' (1. Input Processing), '2. 印刷処理' (2. Printing Processing), '3. 決算・申告書' (3. Financial Statement/Reporting), and '4. データ連動' (4. Data Linkage). Below this is a toolbar with icons for '印刷(P)' (Print), 'プレビュー(V)' (Preview), '削除(D)' (Delete), and '詳細(S)' (Details). The main window is divided into a left sidebar and a right pane. The sidebar contains a tree view of folders and files, including '勘定科目' (Accounting Items), '科目別補助' (Accounting Items by Sub-account), '銀行' (Bank), '営業所' (Branch), '固定摘要' (Fixed Summary), and '仕訳情報' (Journal Entry Information). The '仕訳情報' folder is expanded, and the '標準パターン' (Standard Pattern) file is selected. The right pane shows the '仕訳情報設定' (Journal Entry Information Settings) window. The '摘要項目タイプ' (Summary Item Type) is set to '文字列' (Text). Other settings include '仕訳摘要展開' (Journal Entry Summary Expansion) set to '展開しない' (Do not expand), '摘要コードチェック' (Summary Code Check) set to 'チェックしない' (Do not check), '仕訳連結区分' (Journal Entry Linkage Classification) set to '追加連結' (Additional linkage), 'データ種別' (Data Type) set to an empty field, '連結後の修正/削除' (Correction/Deletion after Linkage) set to '可能' (Possible), '期日自動セット' (Automatic Date Setting) set to 'なし' (None), '不正期日チェック' (Invalid Date Check) set to 'クリアする' (Clear), '補助採用チェック' (Auxiliary Adoption Check) set to 'あり' (Yes), and '仕入税額控除の記載事項の入力方法' (Input Method of Input Tax Credit Items) set to 'チェックする' (Check).

そのため、標準パターンをコピーしてから修正する必要があります。

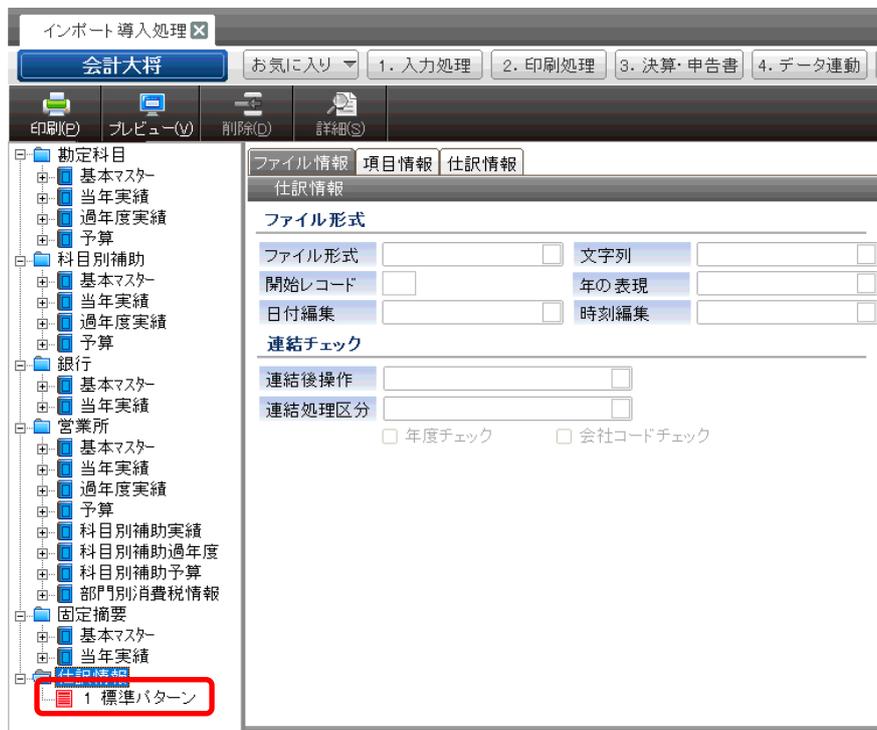
以下の手順で操作を行ってください。

手順1：「標準パターン」を複製して名称を指定

以下の画面から「インポート導入処理」を選択します。

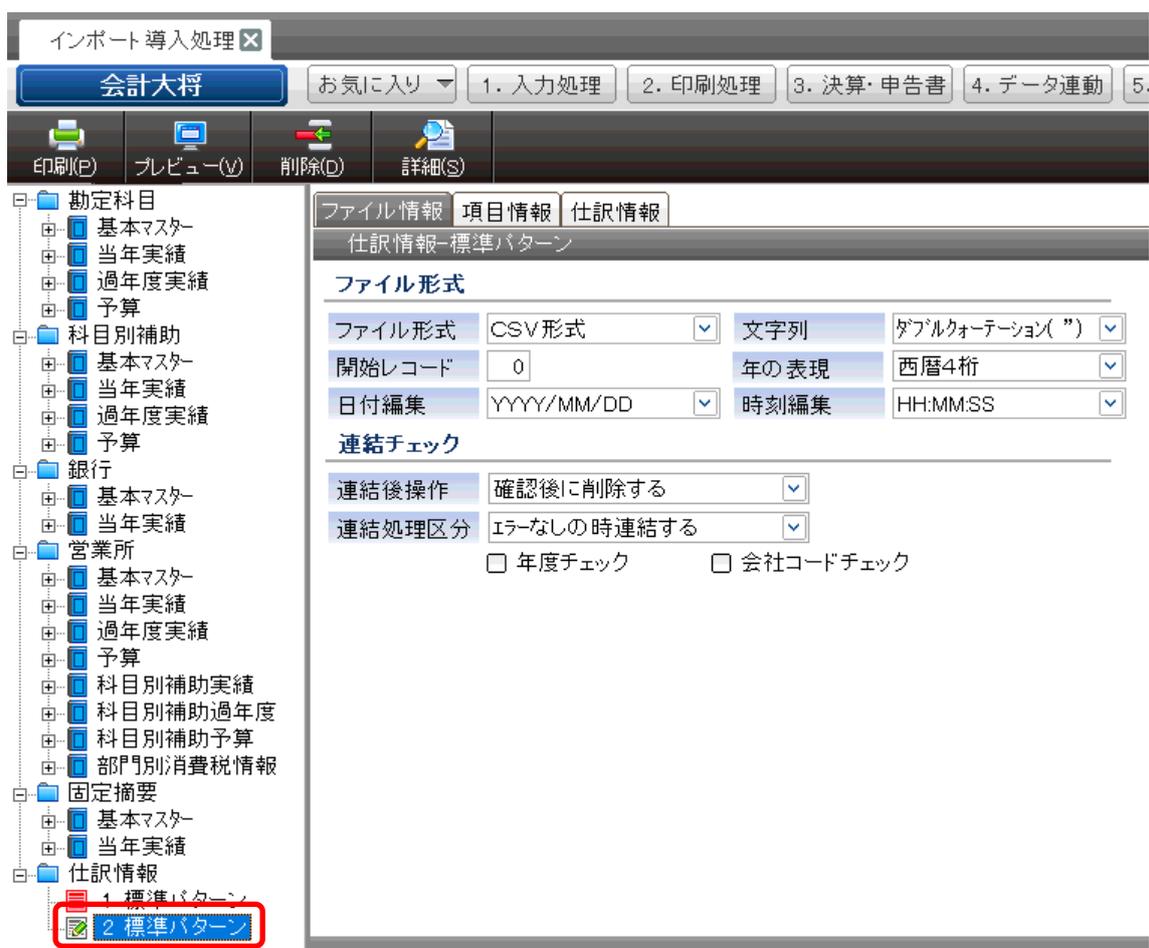


選択すると以下の画面が表示されます。

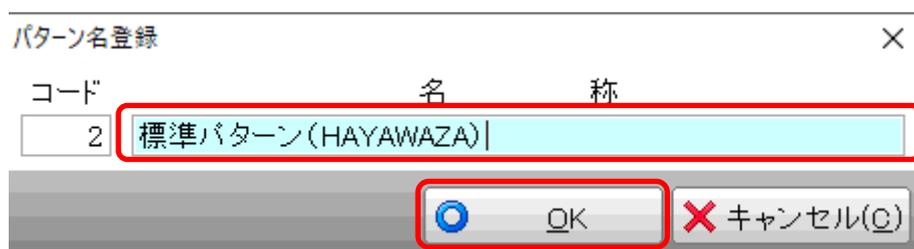


上記の画面から「標準パターン」を選択して右クリックしてメニューから「コピー」を選択します。コピーを行ったあと「仕訳情報」の項目を選択して右クリックしてメニューから「貼り付け」を選択します。

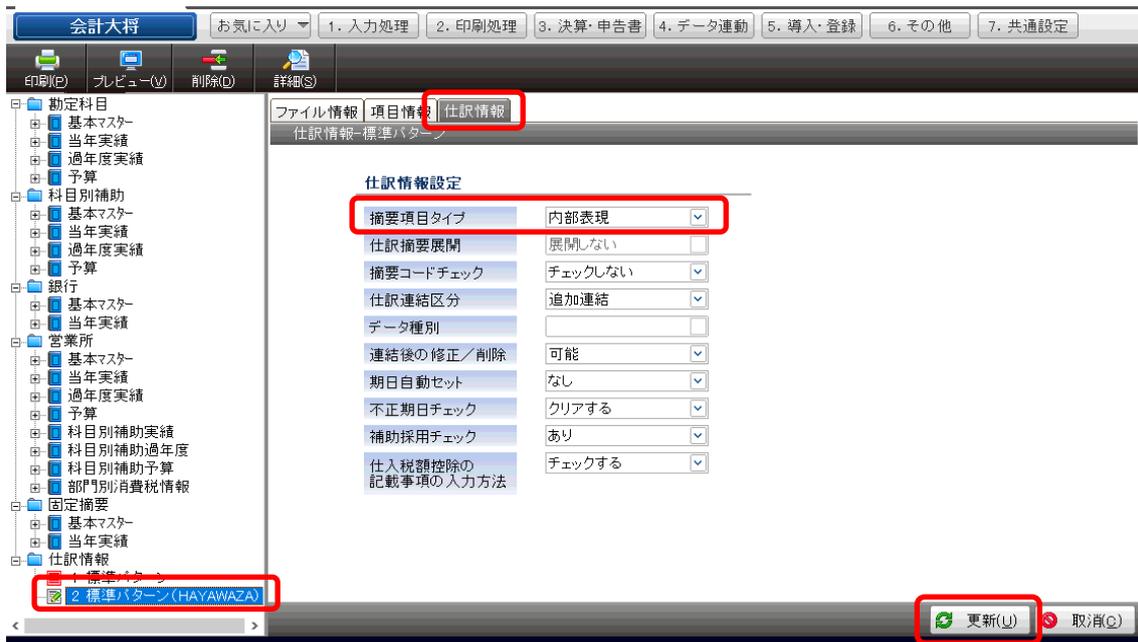
選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面に複製した「2. 標準パターン」が表示されます。次にこの「2. 標準パターン」を選択して右クリックしてメニューから「パターン名、NOの変更」を選択してパターン名を「標準パターン (HAYAWAZA)」の名前を指定します。



上記の画面で「OK」を選択すると以下の画面が表示されます。



「標準パターン (HAYAWAZA)」のパターンを選択した状態で「仕訳情報」を選択します。「摘要項目タイプ」を「内部表現」を選択して「更新」ボタンを選択します。これで準備は完了です。

以下のメイン画面に移動して「仕訳インポート処理」を選択します。



選択すると以下の画面が表示されます。

会計大将 お気に入り 1. 入力処理 2. 印刷処理 3. 決算・申告書 4. データ連動

対象マスター 仕訳情報

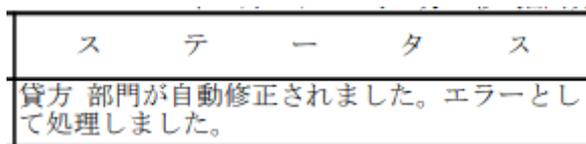
パターン 標準パターン(HAYAWAZA)

ファイル名 C:\Users\早業テスト\Desktop\NXPro\仕訳伝票データ002.csv

対象月 0月 ~ 5月 令和2年5月

上記の画面が表示されたら「パターン」を先ほど複製した「標準パターン(HAYAWAZA)」を選択してインポート処理を行ってください。

尚、複製したパターンでは、以下の部門エラーが発生する場合があります。



このエラーが発生した場合は、以下の設定を行ってください。

メニュー：会計大将

会計大将 お気に入り 1. 入力処理 2. 印刷処理 3. 決算・申告書 4. データ連動 5. 導入・登録 6. その他 7. 共通

9999 サンプル R01/06/01 ~ R02/05/31 データを開く データを閉じる

4. データ連動 処理の検索 (ここに検索文字を入力)

1. 顧問先連動 他社データ取込

2. かんたん！会計 01 データ受入処理 02 導入処理

3. 汎用データ交換 インポート

4. かんたんクラウド 11 インポート処理 12 インポート導入処理 13 コード変換登録

5. MJS-Connect連携 エクスポート

21 エクスポート処理 22 エクスポート導入処理 23 コード変換登録

一括処理

31 インポート処理 32 エクスポート処理

システム連動

処理の説明

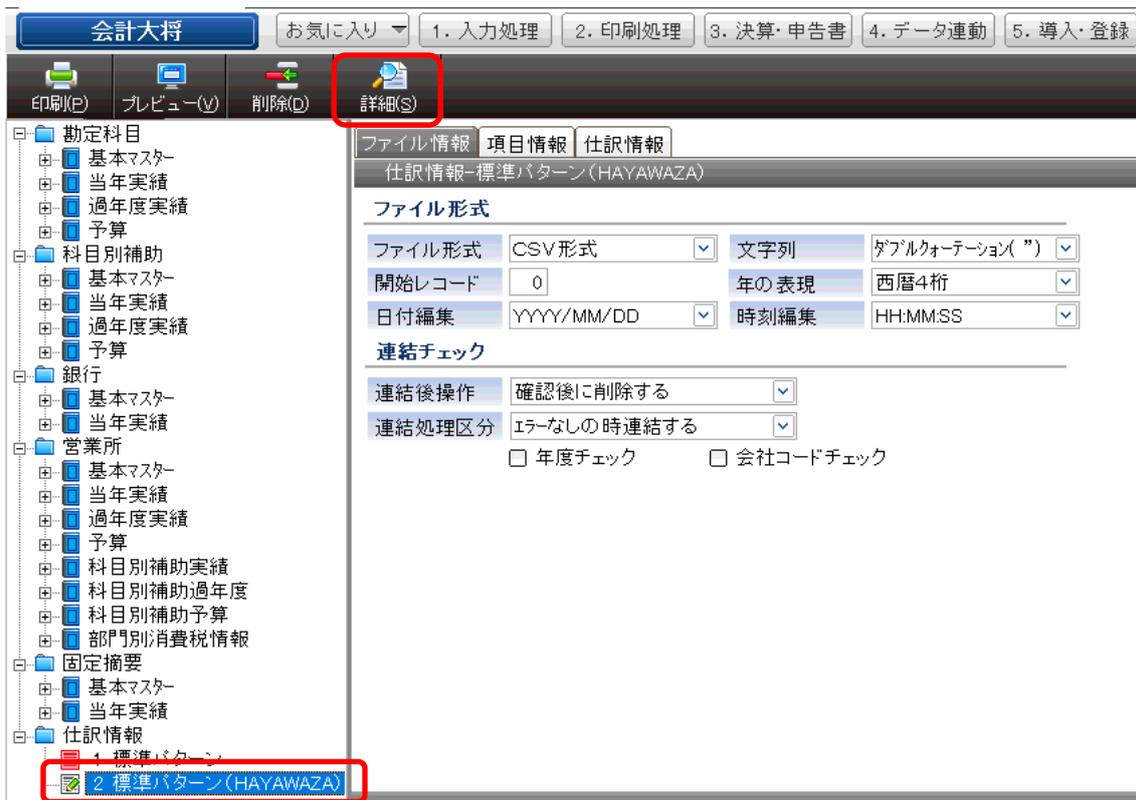
インポート処理

画面番号 [513140]

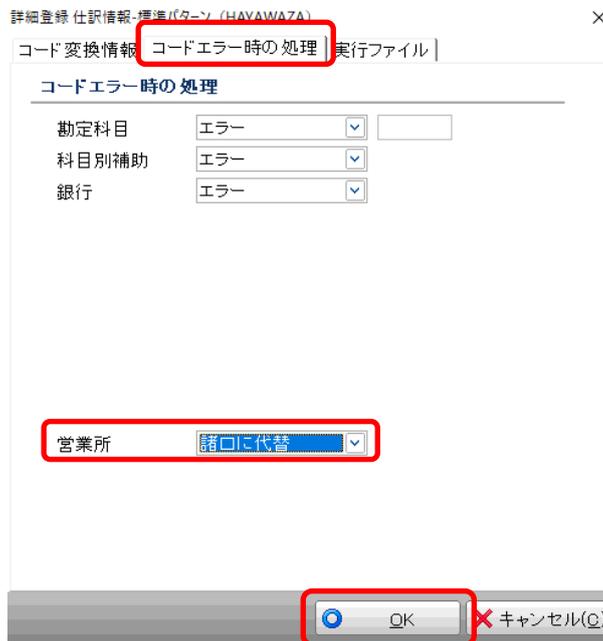
他社、他システムで作成されたデータを中間ファイルから『会計大将』の複数のデータ列に連結します。

番号選択 31

上記の画面から「インポート導入処理」を選択します。選択したら「標準パターン(HAYAWAZA)」を選択します。



上記の「詳細」ボタンを選択すると以下の画面が表示されます。



「コードエラー時の処理」タブを選択して「営業所」を「諸口に代替」を指定して「OK」ボタンを選択してからインポート処理を行ってください。

以上